



# 市民のみなさんと市長が直接対話 まちづくり懇談会

市では、市民が主役のまちづくりを目指して、今年度から、市民のみなさんと市長が直接対話する「まちづくり懇談会」を住民自治組織と協働で開催しています。11月開催の田万里町でいただいたご意見の一部をご紹介します。

11／7開催  
田万里町協働のまちづくり協議会

文化財など歴史を活かしたまちづくり

田万里町で竪穴住居跡が見つかり、うれしく思っている。現在、地域の文化財保全を目的として、田万里小学校跡地の一部を資料庫として活用しているが、手狭になった資料庫を今後どのように活用していくかが課題である。

**答** 竹原市初の竪穴住居跡の発見ということ、市民のみなさんもとても注目している認識しています。今回の発掘調査をきっかけとして、田万里町の歴史・文化にふれる機会を充実させるとともに、歴史・文化の継承活動に地域のみなさんと連携して取り組みたいと考えています。

また、資料庫には、すばらしい物がたくさんあります。法律の問題で、様々な制限がありますが、市としては、施設の有効活用がどこまでできるか、みなさんと連携しながら検討していきたいと考えており、修繕についても、可能な範囲で対応します。

田万里町協働のまちづくり協議会  
会長 伊藤 国臣さん



地域と行政が連携した防災体制に向けて

自主防災組織において、実際の災害時に実働人員が確保できるかということ、組織のメンバーが代わっていく中、継続的な運営ができるかが課題である。また、公民館を地域の情報発信の要とし、災害時の情報発信及び伝達の拠点とできればと思う。

**答** 田万里町では、いち早く自主防災組織を立ち上げていただいています。地域では高齢化が進む中で、災害弱者をどう守るかということも、きめ細かい対応策

を行政も一緒に取り組まなくてはなりません。今後の自主防災組織の展開として、地域行事に合わせた防災活動の実施など、住民が気軽に参加できる環境づくりや、消防団をはじめとする様々な地域活動団体と連携を図りながら地域の力を結集した取り組みを進めることが重要と考えています。

まちづくり懇談会を終えて……

初めての開催で戸惑うこともありましたが、直接、市長とお話する場を設けることができ、地域として意義のあった懇談会となりました。田万里町は、市の最も北部に位置し、情報が入りにくく、住民は取り残されないか不安な気持ちを抱えています。ぜひ、今後も市の動きが分かるよう、積極的に情報発信していただきたいです。

平成24年竹原市交通安全標語が決まりました

交通安全の遵守と正しい交通マナーの実践、交通事故防止の徹底を図るため、「交通安全標語」の募集を呼び掛けたところ、941点の応募がありました。受賞作品は次の3点です。

【竹原市長賞】  
安全に ゆずる笑顔の

本町三丁目 67歳 おもてなし

【竹原警察署長賞】  
手をあげて とまってくれた

大畠 勝作 「ありがとね。」

【交通安全協会賞】  
「まあいいか」その気持ちが

竹原西小学校 1年生 出花 天音

竹原西小学校 6年生 辻 鈴菜

竹原市長賞の作品は、国道432号の東野町交通安全懸垂塔に年間を通じて掲示しています。

お問い合わせ  
まちづくり推進課生活環境係  
☎ 22-7734



## 荘野地区でふるさとを再発見！

11月15日、荘野公民館で「荘野ふるさと再発見講座」が開講され、新庄町神田地区の町並みをたどりましました。昭和初期、芝居小屋や映画館などが並び、人々の交流や絆を生んでいた当時の町並みを、今後地図上に復元していく予定です。



## 地域で学ぼう 交通安全

12月11日、東野小学校で、地域みんなの交通安全教室 in たけはらが開催され、子どもから高齢者まで約100人が参加しました。教室では、夜間の色の見え方を体験する実験や自転車の乗り方を学ぶシミュレーション、酒酔いゴーグル体験などが行われました。

参加者からは、「地域のみなさんと楽しみながら学ぶことができました。」「夜は、色の見え方が違うと知ったので、出歩く時は、着る服などに注意しようと思いました。」「といった声が聞かれました。

みなさんも、交通事故から身を守るために、できることから始めてみませんか。

## リーダーは中学生！ 地域一体で清掃活動

11月24日、竹原中学校区で、竹原地域まるごとクリーン活動が行われ、校区の児童生徒が、保護者や地域のみなさんと一緒に清掃活動に取り組みました。活動のリーダーは竹原中学校の3年生。出身小学校の児童と協力して、通学路や地域の公園などの清掃に汗を流しました。



## 人権フェスティバル つながりを大切に

12月3日と4日、人権センターを中心に、人権フェスティバルが開催されました。会場では、東日本大震災の被災地を支援する人々の写真や「絆」をテーマにした作品などが多く見られ、改めて人とのつながりの大切さを考える場となりました。



## 人気弁護士から学ぶ法律問題 身近な消費者トラブルにご用心を！

12月16日、たけはら美術館文化創造ホールで、竹原市消費者啓発講演会が開催されました。講師は、NHK番組「生活笑百科」で人気を博した弁護士の三瀬頭さん。消費生活の法律問題についてユーモアを交えながら分かりやすくお話してくれました。

夫婦間の契約の話や悪質商法・詐欺の事例など、身近な生活で起こりうる話をもとに、「用心」するよう、参加者に呼びかけました。

## マダイの稚魚 きれいな海で大きくなあれ

12月6日、忠海東小学校前の砂浜で、児童38人がマダイの稚魚を放流しました。児童の環境学習に協力したのは、J-POWERグループと芸南漁業協同組合です。稚魚を放流後、マダイの生態や広島県の漁業についても学び、環境への関心を高めました。

